

締め切り
5月16日

篆刻研究 選評：佐藤焯水

次号課題 「三楽」

今月の課題は論語の季氏編の「益者三楽 楽節礼楽 楽道人之善 楽多賢友益矣」から転借した「三楽」とする。

訓読は「益者三楽、礼節を節するを樂しみ、人の善を道^いうを樂しみ、賢友多きを樂しむは益なり。」で、意味は「益を得る三つの樂しみがある。一つは、礼儀と音楽を行うこと。二つは、他人の美点を話題にすること。三つは、すぐれた友人を多くもつこと。」といったところか。

孔子は「損者三楽」についても述べている。興味のある人は是非とも季氏編を読んでいただきたい。

参考作品



優秀作品



藤田秋風

分間も整い格調の高い作。



矢後幸焯

璽印の古雅を感じさせる作。



荒井湖山

金文体を抽出した趣深い作。



佐野皓月

遊印にも使える落ち着いた作。

- 出品資格：特に制限なし。
- 印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由。楕円・長方形等も可）。
- 印影を白の半紙1/4に押印し、右側に条幅出品券を貼付。
- 課題文字以外の随意作品も出品可。消しゴム印も可。